

かんまき 議会だより

第85号
平成25年8月1日号



議員12名で運営

TOPICS

- 新議会構成2・3
- 5月・7月臨時会、6月定例会4・5
- 議決結果6
- 一般質問7~9
- セミナー参加報告10

平成25年度 新しい議会構成決まる



議 長 富 木 つや子



副 議 長 辻 誠 一

議長・副議長あいさつ

町民の皆様には、日ごろから町議会にご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

この度、5月10日に開会されました第1回臨時議会におきまして、正副議長に就任させていただくことになりました。重責を担うことになり、身の引き締まる思いとともに全力で議会運営に努めてまいります。

さて、議会では開かれた議会を目指して、平成25年3月に「議会基本条例」を制定いたしました。条例では、「議会報告会」の開催や「議会広報の充実」などが明記されており現在、本会議並びに委員会のインターネット中継の検討をしております。今後は、条例の運用に向け積極的な議会改革を進めてまいります。また、町政においても財政運営をはじめ諸課題等も山積しており厳しい状況ですが、議会としての役割を果たし、本町発展のために全力で取り組んでまいります。

今後とも皆様のなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



議会選出監査委員

堀内英樹

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会の適正かつ円滑な運営を図るために設けられた委員会です。6人で構成されています。

【所管事項】

①議会の会期および日程に関すること

②議案および請願、陳情等の取り扱いに関すること

③意見書、決議案等に関すること

④議会の会議規則、委員会条例等に関すること

⑤その他、議会運営上必要な事項



(木内)

東 充洋

吉中 隆昭

委員長

木内 利雄

芳倉 利次

副委員長

長岡 照美

堀内 英樹

総務建設委員会

上牧町は今後も、財政の再建や生活環境の整備など、町民の安定した暮らしの確保のためには、町と議会が一丸となって全力で取り組んでいかなければなりません。こうした状況下、当

委員会では、一般会計予算はじめ、付託された案件について、全委員が活発な議論を行い、行政監視機能の強化に努めてまいります。

(吉中)



東 充洋

堀内 英樹

委員長

吉中 隆昭

富木つや子

副委員長

康村 昌史

吉川 米義

文教厚生委員会

文教厚生委員会は、国民健康保険、後期高齢者医療保険、水道事業などの特別会計の議案を審議します。他に教育・福祉・環境衛生に関する案件が担当です。町民の命と健康にかかわる施策は拡充させたいと思います。

当委員会では忌憚のない議論が行えるよう力をつくします。また、委員会では審議の内容は出来るだけ詳しく委員会で確認しあい文教厚生委員長報告を作成したいと思えます。

(芳倉)



辻 誠一

木内 利雄

石丸 典子

委員長

芳倉 利次

長岡 照美

副委員長

服部 公英

文教厚生委員長報告

■平成25年度水道事業会計補正予算(第一回)

問 「配水管布設工事費3,500万円と、昨年行われたPCTANKの耐震性診断の結果及び施設更新事業内容は。」

答 「工事内容は、下水道工事に合わせて耐震管に取り換えるものと道路新設に伴う工事。古い石綿管が残っている地区で取り替えの設計業務を委託する。」

施設更新事業では、平成24年度の耐震診断の結果、配水池を耐震化するため基本設計を行い、既設の補強か新設かも含め検討する。」

審議の結果、全員異議なく可決しました。

■年金2・5%削除中止を求める意見書

東議員より、4名の賛成議員と共に提案がありました。

審議の結果、長岡議員より、「現役世代が現在の高齢者を支え

総務建設委員長報告

■奈良県広域消防組合の設立に関する協議

この議案は、奈良県内の37市町村(奈良市、生駒市を除く)で消防事業を共同処理するための協議です。

問 「奈良県広域消防運営計画において、33年度以降経費負担については全く示されていないが…」

答 「33年度以降の財政負担については、引き続き協議していきたい。町としてその責務があり、その辺を明確にしながら準備室と協議をしたい。」

問 「この協議は37市町村で行われているが、これが一つでも抜けた時に議案はどうなるのか」

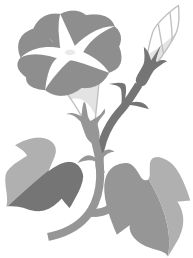
答 「仮定であるが37が36になった場合は再度議決を頂くことになる。いまの議案についてはどうなるのかは、必要性も無くなるので効力は無くなる。」

質疑終了後、東委員から「継続審議を求める動議」が提出さ

れ、その理由として「消防広域化について住民の声を聞くべきではないか。消防力の充足率が現状と比べどう変わるのか明らかでない。33年以降の将来計画が示されてから協議すべきである。」との発言がありました。採決の結果、動議は賛成少数で否決となりました。議案について採決の結果、全委員異議なく可決しました。

■奈良県広域消防組合設立に伴う西和消防組合の解散に関する協議及び西和消防組合の解散に伴う財産処分に関する協議

東委員から「継続審議を求める動議」が提出され、その理由として前の議案と同様の発言があり、採決の結果、動議は賛成少数で否決となりました。議案について採決の結果、全委員異議なく可決しました。



■平成25年度上牧町一般会計補正予算(第1回)

この補正予算は、歳入歳出2億5,568万円を増額し、歳入歳出予算総額を111億2,392万4千円とするものです。

問 「歳出、土地開発公社運営費補助金6,282万4千円について、24年8月の土地開発公社解散プランや25年度公社予算書にも見当たらない。どういう判断なのか。」

答 「三セク債の借入は約42億円を予定している。土地開発公社の24年度決算に関してはほぼ確定している。9月末に三セク債の許可を得て、10月に借入を行う予定であり、あくまで決算の数字を変更しないで三セク債を借り入れたいとの判断である。」

問 「歳出、コミュニティバス購入費382万円について、バスの運行計画はどうか。」

答 「コミュニティバスの運行は、オープン予定のアピタ経由も視野に入れてルートを考えている。2000年会館でも各種の高齢者事業があり、その利便

性も考慮に入れて、町内の病院、友誼会病院や服部記念病院にも行きやすいように、ルートを作成する。」

問 「歳出、第二小学校通級指導教室(言語・LD等)開設に伴う改修工事等1,277万3千円の改修工事の内容と開設時期等について」

答 「軽度の障がいがある児童・生徒が平群町に毎年10名程度通い、指導を受け学習しているが、保護者の負担が大きくなてから強い要望があった。県教育委員会に要望して来た結果、資格を持つ職員を加配するとの回答を得た。それに応えて、受



コミュニティバスとして購入

け入れ施設として上牧第二小学校で改築工事を実施し、2学期からの開設を予定している。」

このほか、歳出の母子虐待予防システム構築、ぷらっと移設に伴う改修工事、風しんワクチン接種助成金、交通安全対策工事ほかについて質疑がありました。

採決の結果、全委員異議無く可決しました。

■平成25年度上牧町下水道事業特別会計補正予算(第1回)

この補正予算は、8,499万7千円を増額し、歳入歳出予算総額を6億730万4千円とするものです。下水道の長寿命化・耐震診断と汚水管敷設工事(梅ヶ丘・服部台地区)が行われます。

採決の結果、全委員異議無く可決しました。

委員会付託されなかった議案

▼第二小学校大規模改修及び耐震補強工事請負契約の締結
工事期間

契約の日から平成26年3月31日まで
工事金額

6億1,082万7千円
契約の相手

村本建設(株)
▼上牧町固定資産評価員の選任
次の方が原案どおり同意されました。

田中 一夫さん(新任)
服部台4丁目

▼人権擁護委員の候補者の推薦
任期満了に伴い、次の方が適任と認められました。

吉田 幸義さん(再任)
滝川台2丁目
竹原 金子さん(再任)
松里園1丁目
福本 重成さん(再任)
桜ヶ丘1丁目

平成 25 年 5 月 臨時会の議決結果

(平成 25 年 5 月 10 日)

議 案 名	議決結果	辻	長岡	堀内	康村	石丸	木内	東	吉中	芳倉	服部	吉川	富木つや子
		誠一	照美	英樹	昌史	典子	利雄	充洋	隆昭	利次	公英	米義	
◎専決処分報告について 上牧町税条例の一部を改正する条例について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に 加わりません
◎専決処分報告について 上牧町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎専決処分報告について 平成 24 年度上牧町一般会計補正予算（第 8 回）について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎上牧町の特別職に職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する 条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎ごみ収集車（2t パッカー車）購入契約の 締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎上牧町固定資産評価員選任について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

平成 25 年 6 月 定例会の議決結果

(平成 25 年 6 月 6 日～6 月 18 日)

議 案 名	議決結果	辻	長岡	堀内	康村	石丸	木内	東	吉中	芳倉	服部	吉川	富木つや子
		誠一	照美	英樹	昌史	典子	利雄	充洋	隆昭	利次	公英	米義	
◎平成 24 年度上牧町一般会計繰越明許費繰越計算書の 報告について	報 告	報告のため採決しない											
◎平成 24 年度上牧町下水道事業特別会計繰越明許費繰 越計算書の報告について	報 告	報告のため採決しない											
◎平成 24 年度上牧町水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報 告	報告のため採決しない											
◎奈良県広域消防組合の創立に関する協議について	原案可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	議長は採決に 加わりません
◎奈良県広域消防組合設立に伴う西和消防組合の解散に 関する協議について	原案可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
◎西和消防組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	原案可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
◎上牧町税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
◎平成 25 年度上牧町一般会計補正予算（第 1 回）について	原案可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
◎平成 25 年度上牧町下水道事業特別会計補正予算（第 1 回）について	原案可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
◎平成 25 年度上牧町水道事業会計補正予算（第 1 回）について	原案可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
◎人権擁護委員候補者の推薦について 3 件	適 任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎年金 2.5%削減中止を求める意見書	否 決	○	●	●	●		○	○	●	●	○	●	

平成 25 年 7 月 臨時会の議決結果

(平成 25 年 7 月 8 日)

議 案 名	議決結果	辻	長岡	堀内	康村	石丸	木内	東	吉中	芳倉	服部	吉川	富木つや子
		誠一	照美	英樹	昌史	典子	利雄	充洋	隆昭	利次	公英	米義	
◎上牧第二小学校大規模改修及び耐震補強工事請負契約 の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※

※議長は採決に
加わりません

○賛成 ●反対 一除斥 ×棄権 空白は欠席



堀内 英樹

25年度予算の執行方針について

問 今中町長の選挙公約の柱は、「みんなで創ろう 元気な安心のまちを！」であった。長期的な視点から、25年度予算に施策としてどう反映されたのか。

答 町長として以前から色んなところで話して来たが、先ず子育て支援、それと高齢者の生きがい対策をどのようにしていくのか。私はこの2つの施策が、これからの中心になると考えている。

通級教室、言葉の教室とも言われているが、町内で30名以上と予想される。6月補正（総務建設委員長報告を参照）で計上し、先ず上牧町として出発していきたい。また子どもの医療費助成については、段階的にしっかりと取り組んでいきたい。

高齢者の方々が運転免許証を返還するようになった。生活の足を確保する必要があり、コミュニティバスを購入する。今の1台にもう1台増やし、公共施設や民間施設などをうまく循環できるように、コースや時間割を検討している。

人口も減少気味で高齢者もドンドン増えている。高齢者の生きがい対策をどうしていくのか。行政として高齢者の方々や社会福祉協議会とも連携しながら、生きがいを持って頂く施策で、実現可能なものから予算計上していきたい。



東 充洋

通学路の安全を確保して

問 今年秋に大型ショッピングセンターが開店されると交通量が増えることは必至です。第三小学校に通学する滝川台・服部台・新町各地区の児童の通学路、町道桜ヶ丘新町線の「荒木塾」交差点と小学校東側の県道中筋出作川合線に、開店までに信号機を設置し子ども達の安全を確保してほしいと父兄や地域住民から強い要望がある。

答 信号機の設置費用は出店会社に出してもらおう約束になっているが、警察の許可が出ていない。

問 上牧町も力を尽してほしい。

答 私町長が直接警察に行き実現するよう力を尽くしたい。

ペガサスホール再開は慎重に

問 ペガサスホール再開に当たっては財政状況を十分見極める必要がある。

答 ホールの再開には大きな費用をかけずボランティアの育成と運営計画をまとめ議会に相談し住民にも周知する。平成26年当初から再開する事は考えていない。

問 中学校卒業まで医療費の無償化を

答 平成26年度から小学校6年生までの無償化を計画している。中学卒業までの医療費無償化は必ず実施するが平成26年度決算状況を見極め検討したい。

急がれる老朽化した 学校施設等の整備



辻 誠一

- 問** 耐震補強化工事関連で学校施設が改良されてきた。一方で、耐震補強の対象とならない施設、例えば二小のプール、体育館の床、屋根は放置され、改修が望まれる。第一体育館の天井も。教育委員会は現状を把握しているか。
- 答** 把握している。
- 問** 教育長・町長は二小のプールを最近見た？
- 答** 見ていない。
- 問** 一度現場を見て老朽化を把握するべき。ペガサスホール再開より、これらの補修が先であると考えるが、いかがか。
- 答** 補助金制度や財
- 政面を考慮し、可能なところから補修していきたい。
- 県道中筋出作川合線上の橋梁
- 問** この橋梁は、かつては、新町から第三小学校の方まで車の通行ができたが、もはや通行ができず、東側に階段を付ければ、この橋梁は不要である。なぜ残したのか。
- 答** 地元の要請で残した。
- 問** 社会資本は保有すれば、維持管理費がそれだけかかる。いかがか。
- 答** 将来は、地元とも話し合っ、撤去も考慮したい。



服部 公英

予算の内容と使い方 今後の財政見通し

- 問** 財政問題について、三セク債の借入れ予定額並びに進行状況について説明してください。
- 答** 予定額は42億円です。解散に伴うスケジュールに変更はなく予定通りに進んでいます。
- 問** 24年の法人税について、最近では大型店舗が出来て法人税は伸びていますか。
- 答** 24年度については、景気の状態が悪くて、少し減っています。今後については大型店舗等の開店により25年度26年度に良い影響がでけると考えています。
- 問** 要介護高齢者の状況についてお尋ねします。在宅での寝たきり・認知症の高齢者・一人暮らし世帯の数は町として情報を持っているのか聞かせて下さい。
- 答** 町としては情報を持っており、民生児童委員の方々と協力をして見回り、声かけを普段からしています。
- 問** 教育について、不登校児童生徒について相談機構と繋がって無い保護者のネットワークづくりを支援する事業があります。上牧町の取り組みを聞かせて下さい。
- 答** 県の事業で町としても前向きに取り組んでいきたいと考えています。

動物愛護で人も動物も共に暮らせる町に



長岡 照美

問 少子高齢化、核家族化の進展に伴い、ペットがパートナーとして扱われ、動物の大切さが高まっている半面、無責任な飼い主による迷惑行為や、のら猫の繁殖等の苦情も増えています。また、虐待や遺棄も後を絶ちません。家庭や、学校、地域など、あらゆる場面で動物を適正に飼育するため動物愛護推進員の育成や地域に根付いたボランティアの推進の情報が発信をお願いします。

答 所有者の社会的な責任の自覚や動物愛護の担い手の支援等を町の広報紙、ホームページで啓発を

記載していきたい。環境省は、捨て犬や捨て猫の数を避妊や去勢の徹底で減らし、自治体で引き取る犬、猫の数を2011年度の22万匹から2023年には10万匹に半減させる目標を立てました。23年度に奈良県に届けられた捨て犬や猫1781匹が処分されている現状です。不妊、去勢手術の取り組みの考えは。

答 少数の自治体が助成している。今後、他の市町村の動向を見据えながら助成制度についても検討していきたい。



木内 利雄

プール28.5杯分の節水効果

問 学校のトイレ洗浄水量の節水について伺う。近年、これらの技術の進歩はめざましいものがある。既設のトイレを節水型洋便器に新規交換した場合の想定で、私木内が試算したところ、町立の小学校3校と中学校2校の合計で年間節水量は約1万257立方メートル、その節水量は標準的な小学校プール容積に換算すると28.5杯分で、その年間節減額は上下水道料の合計で545万円となる。そこで、町当局の見解を伺う。

答 節水効果と節減額の大きさに驚いている。年度毎で一校ずつ改修したい。

不当要求行為について

問 近年、公務員が暴力団組員らに不当な利益を要求される「行政対象暴力」の相談件数が増加。警察庁によると、昨年、全国の警察などに公務員から寄せられた相談は4007件で、2007年と比較して1.6倍に増加している。そこで、上牧町の現状と対応のあり方について伺う。

答 過去には警察官に来ていただいたという事例もある。今までは丁寧な対応に徹してきたが、それだけでは相手がエスカレートすると不当要求になるので、毅然かつ厳正な態度で臨みたい。

自治振興セミナーに参加して

平成25年6月6日、かしはら万葉ホールで奈良県と一般財団法人自治研究機構主催の「自治振興セミナー」が開催され、3人の講師が講演をされました。上牧町からは今中町長を始め、議員4名と議事事務局が参加しました。

●分権時代の県・市町村のあり方
元総務大臣の増田寛也氏は、道州制論と、2040年の人口予測

をベースに、新たな広域連携制度（水平）が必要で、都道府県（垂直）との水平垂直補完が重要となると話された。

●私の考える地域力創造のポイント
前自治財政局長の椎川忍氏は、地域力とは資源力と人間力であり、地域の資源を活かし、要は人間の「やる気」であると話された。

●住民主体のまちづくりの実践
新潟県見附市長の久住時男氏は、民間企業出身で、市長3期目。「将来のビジョンに基づき、市民が主体のまちづくりを」「近年3度の激甚災害に見舞われ、防災対策を充実」「食育から健康施策等の結果、介護認定率が3年連続で新潟県でもっとも低い」など着実に行政成果が上っていることを話された。



各講師のお話は、それぞれ大変興味深く、特に見附市の介護予防や防災対策の取り組みは参考になりました。今後の研究課題にしたいと思います。

議会日誌

(4月)

- 3日 広報委員会
- 9日 広報委員会
- 15日 広報委員会
- 22日 災害に強いまちづくり特別委員会(第4回)

(5月)

- 26日 議会改革検討委員会(第13回) 全員協議会
- 8日 議会運営委員会
- 10日 第1回臨時会
- 15日 財政問題特別委員会(第24回)
- 20日 町シルバー人材センター理事会
- 21日 北葛城郡町議会議長会
- 22日 静香苑環境施設組合議会
- 23日 議会改革検討委員会(第1回) 災害に強いまちづくり特別委員会(第5回)
- 24日 全員協議会

- 30日 王寺周辺広域市町村圏議長会
- 31日 町シルバー人材センター定時総会 広報委員会

(6月)

- 4日 議会運営委員会
- 6日 第2回定例会(初日)
- 7日 文教厚生委員会
- 10日 総務建設委員会
- 14日 一般質問(4名)
- 17日 一般質問(2名)
- 18日 第2回定例会(最終日) 全員協議会

(7月)

- 20日 議会改革検討委員会(第2回)
- 5日 議会運営委員会
- 8日 第2回臨時会

編集後記

議会改革が叫ばれていますが、上牧町議会もできる事から取り組む姿勢です。今回議会広報も大幅に刷新して、ひとりでも多くの住民に読んでいただけるよう工夫をしました。
議会広報の刷新に関しご意見等ございましたら、議会へご連絡ください。

☎0745-76-11001
☎0745-76-11003
広報委員会

- 委員長 長岡 照美
- 副委員長 康村 昌史
- 委員 辻 誠一
- 委員 堀内 英樹
- 委員 石丸 典子
- 委員 服部 公英

次回の定例会は

9月10日開催予定

- ・第3回上牧町議会定例会
平成25年9月10日(火)
午前10時から
 - ・議会運営委員会
平成25年9月6日(金)
午前10時から
 - ・議会報告会
平成25年10月19日(土)
午後2時 開催予定
- 2000年会館多目的ホール